

商 況

販賣旬報 第247號 昭和8年11月11日

製鐵所販賣部

12、1月積堅板會賣出協議會—据置

月日場所 11月7日 製鐵所東京出張所

出席者 三井、岩井及製鐵所

議事 12、1月積スコップ用鋼板賣出に關する件

1、値段 外注 Cif は 8 磅 17 志で前同と變らざるも爲替が 2 ポイント昂騰したので河岸着に於て 2 圓方の値下りとなり外注との値開きが縮小されたるも値下げする程の材料ではなくむしろ据置を妥當とすると云ふ意見に速決、次記の通りの値段で賣出される事となつた。

12、1月積スコップ用鋼板 176 圓(据置)

2、數量 工場操業の關係上製鐵所としては前月より 2 割 4 分方の減量が望ましも買手の希望を容れ 300 吨を賣出す事とした。

DEC./JAN. SHIPMENT

SHAVEL SHEET

1'85mm×4'×8'

Cif	£ 8-17-0
Ex. ½—¼	¥ 148'93
Duty	32'01
Charge	2'50
	¥ 183'44
Per 1,000kg.	¥ 180'55
前月決定	¥ 176'00

12、1月積美裝鋼板の申込及引受

白鷺が減少したのは赤鷺の效能に目覺めたからであり白鳩が激増したのは値段及び中板との關係からのみではなく建築用、車輛用等白鳩の使用を適切とする需要が有つたからで何れも用途別に適切な品質の鋼板を使用するに至つた傾向の現れであると見られてゐる。美板會も製鐵所も適材適所をモットーとして善處を期してゐるので今後以上の傾向は益々強調されて正常なる美裝鋼板の申込を見るに至るであらうと云はれてゐる。

12、1月積美裝鋼板申込及引受高

品 種	白鷺	赤鷺	白鳩	赤鳩	計
B.W.G. #22	6	20	—	—	26
" #20	—	15	—	—	15
" #19	1	10	5	5	21
" #18	5	15	—	5	25
1'6mm	32	—	100	5	137
2	—	—	—	—	—
2'3	1	—	72	10	83
3'2	41	—	42	10	93
計	86	60	219	35	400

1、2月積小型山形共販賣出理事會—据置

月日場所 11月6日 製鐵所東京出張所

出席者 釜石、製鐵及三井

議事 1、2月積小型山形鋼賣出に關する件

1、値段 外注値段は別項の通り前月に俄然 10 志近く的大幅下落を見、其上爲替の軟調は此軟勢に拍車を入れて、河岸着にては先月より 10 圓弱みの下放れとなつた。其原因は決して大陸の不況を

意味するものにあらずして全く英米爲替の變調に基く、爲替手取りの増加によるものと云はれて居る。

一方内地市場は、10月末より一般鋼材の一段落を映して小型山形も前月と殆んど變らざるか或は寧ろ小甘い商状を示し、在庫概觀しても前月と大なる消長無く東西共 1,500 吨内外を往來して居る。

斯る状態なるを以て買手としては据置を希望するも中型山形の堅調と今月の建値の變化を考慮すれば値上げの可能性ある様にも判斷せらるゝも之が取捨は共販側に一任すべしと云ふ買手提案があつた理事會に於ても環境より見て買手希望の据置きが妥當なるべしとの結論に到達して次記の通り据置きと決定した。

記 A 108 圓(据置) B 100 圓(") C 95 圓(")

2、數量 之も前月と同様申込を見たる上賣出數量を決定することとした。

3、締切 11月11日

Small Size Equal Angles Quotations

Tokio, Nov. 6th, 1933.

Specification m/m	Hamburg Tel. Nov. 3rd, 33.	Exch. @ ½—¾
1/8" × 7/8" (3×20)	£ 6—8—9	¥ 132'58
3/8" × 1" (3×25)	5—19—6	125'00
" × 1 1/4" (3×30)	5—14—9	121'12
" × 1 1/2" (3×40)	6—4—0	128'70
3/16" × 1 3/4" (5×30)	5—14—9	121'12
3/16" × 1 1/2" (5×40)	5—14—9	121'12
" × 1 3/4" (4×45)	5—10—3	117'43
1/4" × 1 1/2" (—)	5—14—9	121'12
" × 1 3/4" (6×45)	5—10—3	117'43

10月中三港輸入概況—一路減退

(1) 陸に上れば船量は去りながら未だ地面がゆらゆらと動いてゐるやうな氣がする。今月の輸入がそれで、本年頭初以來の輸入數量と、本邦の需給量と、輸入手當々時の市況とから考へれば新しく注文された物が保税物かに関する疑問はあるが輸入表を平面的に觀察する限り部分的には尙ほ過多であり思惑であると思はれる物もある。未だ醒め切らぬ感なきにしもあらずである、然しながら 1 ヶ月の輸入 1 萬 3,000 吨と云ふ數量は前年下半期の極限された時代に比すれば兎も角として常態に於ては決して多い數量ではなく殊に近來の如く市況は亂高下を來し氣配は混沌定めなき時代には農の不況に外注の跡を斷てば夕べの好調に輸入の影を追ふに至るので今日の 1 萬 3,000 吨が來月、再來月には 1 萬 5,000 吨或は 2 萬吨に達する事無しとは云へないが誇大視されて居る非常時景氣と製鋼界既定の進展を思ひ併する時當分一高一低は免れぬとするも將來外注は當然減少するべき運命にあるのではあるまいかと見られてゐる。此の意味に於て今月の輸入も亦波亂の渦中にありと云ふ事が出来るが同時に現在を以て率すれば一路減退して健康體に近い状態となつたと云はれるのであるまいか。

(2) 丸鋼。神戸は全部造船材料と特殊物。大阪は計約 700 吨の中、市場向の物は太丸の約 600 吨のみとなり中丸其の他の物は全く影を消してしまつた。太丸が輸入されたのは製鐵所品の出廻り不圓滑が豫想されたからであるが中丸に山が見れば直ぐ様他を物色すると云ふ油斷のならない情勢の残つてゐるのを物語るのであるまいか、然しながら 1 ヶ年 6,000 吨に満たぬ需要の太丸であるから之

れ丈けの數量がそういつ迄も續くわけではなく一時の物色買であつて中丸の無くなつたのは何と云つても大阪の輸入状態も一變したと云へるのであらう。大阪に反して横濱 560 吨の中 500 吨が中丸残り 60 吨が特殊品質の物である。市況が翻轉した今日突然の此の數量が而も横濱に入つたのは意外で之は 7 月頃の不況時に勇敢に手當されたものか保税に隠れてゐたものか見當がつかないと云はれてゐる。角は需要の少い物なので無暗に荒れないが輸入の放浪性と本年の非常氣配は此處にも窺はれて、横濱は特殊品質の物ばかりであるが大阪の全部と神戸の大部分は市場向の物で而も丸と同じく大型物である。丸と云ひ角と云ひ大衆向が飽きられたと見て品薄物の穴を狙つての逸早い轉向振には全く恐れ入る他はない。平の本年累計は前年同期累計の約 3 倍であるので其の輸入が如何に旺盛であつたか窺ひ知る事が出来るが本月は激減して數量的には輸入終熄を思はしむるに至り、質的には條鋼全般に亘つての現象である轉向と情勢を示してゐる。即ち神戸、横濱共に全部特殊物であるが大阪は角と同じ大手筋に依つて輸入された 2" 巾以上 6" 巾迄の間屋さん入りの物で三港計 200 吨と云ふのが今月の状態である。

等山は三港計 1,300 吨で漸減しつつあるが神戸の全部は造船材料であるとは云へ大阪はスクラップの 100 吨を除いた残りとも横濱は其の全部が中型の市場向サイズで減少したとは云へ内地メーカーの供給能力を見越して今もなほ舊態依然として手をつけられてゐる物の一つである。不等山は大阪に僅かばかり 100mm×75mm が入つた丈けで他は造船材料のみとなつた。

溝形は横濱、工形は大阪のみである。溝は前月までは累計に於て前年の約 10 倍に達した程の勢だつたので全部市場向の物ではあるが前月の半減以下となり、之れと反對に工形の累計は前月までは前年同期累計より尠く條鋼類中唯一の例外を示してゐた物なので目をつけられた形で俄然 475 吨而も思惑品のみが輸入されて累計も前年より 300 吨の増加となつた。

鋼板 0.7mm 超は前月より 400 吨以上減少して數量的には追々と訂正されつつある。神戸に入つてゐるのは全部造船材料である。大阪には相變らず解體船材とかスクラップとか稱する化物が 400 吨以上入つてをり之れも何うかと思はれる代物であるが其の他の物も中板 200 吨厚板 500 吨と全部が市場向けられる物、横濱も 460 吨が中板で他の 40 吨ばかりが特殊品と云ふ状態で腐つても鯛？ は流石に思惑の氣魄を藏してゐる。危い哉鋼板の感が深い。0.7mm 以下は遂に消滅して姿なく萎影悄然。

鉄力は一高一低不變の姿である。今日は前月より多少低部を歩いてゐるが鋼板が減退したので輸入表中一頭地を抽んで、前月來昔日の王座を保持してゐる。軌條は約 200 吨増加したがガード、レールが大部分で其他もスクラップとかエレベーター用とか從來の傾向と變らず。線材は久し振で 1,000 吨以下に落ちたが過般の好況の折アウトサイダーの進出や共販の能力増進も尻目にかけて大分外注に走つたとも云はれてゐるので將來の事は保證の限でない。

シートバイリング、鋼管は本邦鐵鋼界の努力に俟つのみと云ふ從來の情勢と變らず依然必要の範圍内で増減を繰返へしてゐる。

ブラツセル齋藤囑託通信

10 月 14 日 發信 市況引續き開散なれ共入注は絶へず共販相場手堅く保合ひを報じ居れ共磅弗爲替相場軟弱且つ不安定なるは弱氣材料たるを免れず候

10 月 20 日 發信 市況は引續き沈靜を續け磅相場下落に加ふるに獨逸の國際聯盟脱退のため歐洲の政界頗る多事となる等市況は

當分好轉の見込なく且つ鐵鋼カルテルも内部に不平分子を生じ或ひは再び瓦解を見るにあらざるやと懸念するもの出づるあり現に白耳義の一メーカーは明かにカルテルに反逆の意志を表はし今後の成行を案ぜらるゝ始末に御座候

10 月 1 日現在白耳義高爐狀況次の通りに候

製鐵所名	基數	火入中のもの	休基數
Sambre & moselle	7	3	4
Moncheret	1	—	1
Tehy-le-château	4	2	2
Hainant	4	—	4
La providence	5	5	—
Clabecq	4	2	2
Boël	3	2	—
Cockerill	7	6	1
ougrée	10	5	5
Anglem-athus	9	4	5
Espérance	4	3	1
Hainzy	2	1	1
Musson	2	—	2
合 計	62	34	28

東 京 市 況

九 鋼 何時もの事ではあるが、良いにつけ悪しきにつけて問題の種となるはベース丸である。四圖の狀況不味の今日の如き際は特に關心事である。然し今の處は申し合せの 93 圓は到底及びもないが先づ賣れる處は 91.2 圓で、これは値段としては上へも下へも動かぬが氣持から云ふと賣人氣が勝つて居る程度で餘り香ばしいとは云はれて居らぬ。之に比すれば未だ未だ 9mm の方がましで相當の消化もあり伸鐵も此頃手を伸ばして來ぬので小康を保つて居る 6mm も大阪の伸鐵組合が組織されてから堅調を續け中丸以上は最近四社が東西合せて 1,000 吨の相當高値の外注をしたので之れを買へば可なりの高値に付くのと、堅實な消化振りであるのに加へ大手筋の思惑買も交つて居るから現況は兎に角先行は高値と見る向と環境安から今迄が行き過ぎであつた事に感付いた反動で賣向はれて已に 20 錢方下押しを見た現況から押して 10 及外注の入荷に連れて軟化は脱れまいと云ふ 2 派に分れて居る。

角、平鋼 伸びるのも後廻しとなる代り押目を感じるのも鈍感なのは性質上已むを得ず、角も 25 以上は品掠れに高値唱へを續け、特に 50 の如きは 13 圓 50 錢と突飛高を云はれて居る平も感じは小甘いが 75 以上は不相變品薄に駭りを傳へられて居る。

型 鋼 同じ話題の中心でも丸鋼は只呆りだけの無味であるのに反し、中山は何か一波瀾ある氣構えで無氣味の推移を辿つて居る。特に協議會を眼前に控えた今日故市場でも色々の策動の噂もあれば或は製鐵所方面で 2,30 吨のものが 100 圓で賣に出たのを成行が 100 圓と唱へるものもあるし、釜石が近々押し寄せて來るとか、外注が 110 圓で出来るから、山は見えた等に、實相虚相取り交せて飛び廻つて居る、値段は前週より 2,30 錢方下押しと云はれて居る。

大型物は大阪の氣崩れから東京も厭き氣味となり、賣人氣が崩し出して總體に押目と見られて居る。品種別に云へば不等邊の 90×125 が出廻り不順調、12×100×150 が 200 吨許りの入用買に硬化の外はデックリ、溝の 50×100、65×125 工の 100×200 の様に代用が利いて手持豊富なのは賣逃げの爲め下放れと云ふ程であるが其他のものは大阪に追從して軟勢程度と見られて居る。

鋼 板 流石の中板も此處へ來て概觀して愈々一服状態となつた 1'6 は九州物の入荷や外注安と賣れ止りに保合となり 2'3 のみは品薄にどうやら孤壘を守つて居るが、3'2 は盤廻しが一順して逃げ腰となり 4'5 も西安に脅かされて昔の氣勢無く寧ろ厚板の 6'0 の方が駭り 8'0 以上は昨日迄は上伸を豫想されて居たものが環境に連れ

て急に氣が弱くなり安保管と轉向した。

大阪市況

九 鋼 昨今の或鐵鋼界は新聞、雜誌等によつて實勢以上に好景氣來を書き立てられてゐるので氣の早い手合は思惑買をしつゝある様子で、或種のものに對しては外注に食指を動かしたとの噂もある。然し乍らこのごろの所謂インフレ景氣なるものゝ正體を見極めれば一般鋼材市場に關する限り大した影響はないようである。即ち昨今の鐵の相場の高いのは實需の旺盛によるものではなく一部材料屋の思惑による原料高のため無理矢理に製品相場を釣上げたと思われ、その證據には細丸並にベース物等は極少量の市場手當にも直ちに相場は引緩みを演ずる有様と云はれてゐる。又一方メーカーの賣出値段も幾分高すぎるかの觀あり従つて市場利喰投げも散見せられメーカーの強腰に逆行して氣配は安含み保管である。中丸は當所の販賣政策宜敷きため市況は臆りと云はれてゐる。太丸は市中在庫薄から相場は遂に外注値段まではね上つた。

吉夢見て逆夢と解けば柳散る

角、平鋼 角鋼細物は荷廻り不順調なるため市中極端なる品揃れと云はれ堅實な歩調を辿つて居る。就中 32mm 15 圓、38mm 14 圓と目立つて高い。平鋼民間分野ものは伸鐵品の出廻り良好なるため氣配は茲許一服。當所分野ものは手當薄のため相場は高い。

型 鋼 小形アングルは伸鐵も採算上製作中止の様子で一方共販よりの注入もさしてなく従つて市中在庫は豊富ではないが何分にも荷動き鈍い所から氣配は軟弱と云はれてゐる。中形アングルは共販よりのデリバリー圓滑なる處へ買手は見送りの態度を持してゐるので在庫漸増の有様と云はれ従つて氣配は弱含み保管である。反之不等邊中形アングルは當所よりの積出少きため市中品不足となり相場は 11 圓 50 錢—12 圓見當を唱へられてゐる。大形アングルはストック豊富なる所へ荷動きも遅々として進まず目先も何等手がかりになる材料も見付からぬようである。デョイスト並にチャンネルは昨今各問屋とも思惑をしてゐる様子で早くも外注に走つたものもあるとのことである。

鋼 板 1、2 中板は共販よりの荷廻り不順調なる所へ思惑分子の策動のため相場は 17 圓 50 錢と異常な高値を唱へられ外注に走つた向もかなりあるやうである。厚板は一般市場は先般來平凡な足取りを見せてゐるが過般滿鐵より纏つた注文に接したとの報に幾分の引締りを見るにいたつた。

線 材 概して品薄であるが製品界が昨今一服の態といはれ従つて相場は伸びそうで伸びないやうである。來月は輸出期であるとしてこれに幾分の期待をしてゐる様子である。

鋳 力 板 英國物は爲替關係で輸入採算取れず従つて昨今では市中より影を沒したやうである。これに引かへ米、伊、佛物が相當安値にて輸入されてゐるので製鐵所品は相當脅威を感じてゐるようである。

販賣旬報 第 248 號 昭和 8 年 11 月 21 日

製鐵所販賣部

1、2 月積先物賣出協議會—据置

月日場所 11 月 9 日 大阪平和俱樂部

出席者 製鐵四社及東西問屋

議 事 1、2 月積先物賣出に關する件

1、値 段 外注値段は大陸の國內値段としては變らざるも弗爲替の變調に基因して輸出値段は一齋に下轄を示し Cif に於て別項の如く前月に比し 3 志内外の安値となり、其上爲替も 3 ポイントの軟

勢となりたる爲め結局河岸着に於て 3、5 圓の下値を示すに至つた

1、2 月積先物協議會

品 種	入電沖着	河岸着値段 (爲替 1/2-1/4%)	希望	決定	備考
角 鋼 ベース	£5-5-6	¥114.19	106	据	置
平鋼(本所分野)	5-5-6	114.19	106		
大型山形鋼	5-5-6	114.19	105		
工形鋼	5-0-0	109.65	101		
溝形鋼(吋寸法)	5-14-6	121.61	114		
〃(耗寸法)	5-2-0	111.30	101		
丸 鋼 ベース	£5-5-6	114.18			
〃 9mm	6-1-6	127.39			
中小型山鋼形	5-8-0	116.24			
鋼板 6mm 以上	6-15-0	138.53			
〃 4.5mm	7-2-6	144.72			
〃 3.2mm	7-12-0	152.55			
〃 2.3mm	6-14-6	144.95			
〃 1.6mm	7-1-0	150.32			
黑 薄 鋼 板	7-0-0	139.66			
線材 B.W.G. No 5	12-10-0	253.60			
鋳力板 170 lbs	1-14-9	30.88			
〃 100 lbs	0-18-10	16.79			

一方内地市場は 10 月末より反動期に入りて賣行不振となり今日にては最高値當時より 10 圓弱みの下押しを見、先行に對しても別に強氣の材料も見出せざるを以て彼之參酌して据置きにせられたしとの買手の意見開陳があつた。製鐵所としては假へ外注に若干の變化があつたとは云へ猶且 10 圓内外の値開きあり、然も其原因が大陸の不味と云ふよりも一時的の爲替關係に因る事にもあり、其上内地市場も相當上軌にある故値上げの餘地は充分残されあるものとは考ふるも、一面之を打消す原因にも相當の理由あるを以て暫く形勢を觀望する意味より買手要望通り全部据置きと決定した。

2、數 量 數量に就ては買手側よりは別段の要求もなく、製鐵所も情勢に應じて善處する爲め一應申込を見たる上にて決定することとした。

11、12 月積鋳力板の引受

鋳力の需要 1 ケ月約 8,000 吨に對して假令マーケットブルの物であり先物であるとは云へ僅に 400 吨程度の賣出なので、環境の如何に拘らず毎月鵜呑みにして申込及び引受の状態に變化なく、之に據つて市況の向背を知るに由なき事依然たりである。

強て今月の特色を求めれば小判が無くなり別表の 422 吨も大判のみであると云ふ事である。

11、12 月積鋳力板申込及引受高

社 別	申込高	引受高		計
		100lbs	170lbs	
東 京	193	58	135	193
大 阪	196	59	137	196
名 古	14	4	10	14
其 他	19	6	13	19
計	422	127	295	422

1、2 月積美鋳會賣出協議會—鳩値上げ

月日場所 11 月 15 日 八幡市製鐵所販賣部

出席者 三井、高島屋及製鐵

議 事 1、2 月積美鋳鋼板賣出に關する件

1、技術上に關する打合せ 賣出しに先立ち先般工場側より提出されたる鋼質其他に關する製作標準に付き打合せをなし結局工場側提案の通り將來製作することに決定した。

2、新製品「青鳩の進出」釐造用櫓、タンク及客貨車用等特殊の需要に應ずる目的を以て白鳩と中板の中間に位する新製品に對する市場の要求の熾烈なるに鑑み豫て當所にて研究を重ねて居つたが、

今回漸く完成し「青鳩」の商標にて市場に進出することとなつた、寸法は不取敢 3'2, 4'5, 6'0 の 3 種とした。

3、値 段 元來美裝鋼板の値段は特定の標準に依つて建値しありたるも諸種の原因に基き近來亂調子となりたるを以て此際 1 回整理する必要がある様思はれ、今月は最適の時機と考へ結局鳩印を若干値上げをした。

3、締 切 11 月 20 日

12、1、2 積出六軌會一据置

月日場所 11 月 13 日 八幡市製鐵所販賣部

出席者 日本レール及製鐵

議 事 12、1、2 月積輕軌條賣出に關する件

1、値 段 輕軌條に關する限りに於ては今日の處至極順調の狀態に置かれ、需給均衡を得居るも悉を云へば今一層の出荷を見れば猶満足すべき現況である。次に限月は前回 9 月開催の際は、9、10 月積を決定したるも之は實際の狀態に即せざるを以て、今回は 11 月積を除き、12、1、2 月の 3 ケ月分を建値することとした。

外注値段は近來徹底的の防遏の爲め實際の値段は不明なるも大勢は聊か鈍調と見られ、然も今日の爲替は甚だしく不安狀態に在り、且今日迄値上げの繼續をなしたる際なれば、此邊にて一度 2、3 圓の値下げを願へれば甚だ賣りよくなるを以て 2、3 圓程度の値下げをされたし。

製鐵所としては、輕軌條は日本レールのみにて統制し居る上別項の通り外注値段より高値でもなく、強いて値下げすべき理由もなく、若し 3 ケ月先賣が不安なれば 12、1 の兩月にしても据置きが妥當なるべしと提案し、買手側にては前回同様値下げ説も「賣りよい」を標準としたるものにて是非値下げすべき理由もなく積月は先行の狀態が大凡分明する時期迄の 2 月迄を決定せられたしと云ふことで決局次記の通り決定した。

12、1、2 月積輕軌條値段

10 哩未満 115 圓(据置) 10 哩以上 113 圓(〃)

2、數 量 買手希望は今冬は、産金其他の鐵山關係の旺盛もあり恐らく期節的の減退は無き様にも觀察せらるゝを以て是非多量の契約を願度しと云ふことであつた、當所としては輕軌條の希望は諒とするも生産豫定もあることゝて買手側希望を鵜呑みにすることも出来ざるを以て彼之參酌して 3 ケ月間にて 9,000 噸の引受をなすこととした。

外 注 値 段

	8' 11' 10 入電
Cif	£ 5-13-8
Ex. 1-2' 1/2	¥ 94.07
Duty	21.68
Landing C.	1.30
	¥ 117.05 per ton.
	115.20 k. t.

1 月積三 S 會賣出協議會一据置

月日場所 11 月 14 日 八幡市製鐵所販賣部

出席者 三井、三菱、高島屋日立及製鐵

議 事 1 月積珪素鋼板賣出に關する件

1、値 段 珪素鋼板の外注値段は例の通り一本調子にて變らず爲替關係のみにより浮沈し今月も特殊な入電を除きては大陸物にて 2、3 圓米物にて 3、40 圓の値下りを見た。買手要望は以上の狀態に基き、T 級にて 20 圓程度モーターにては是等の素因に加ふるに他

の狀態を多少考慮に入れて若干の値下げ願度しと云ふことであつた當所の意見としては外住値段が追々と接近しあるは事實なるも未だ當所建値を脅威する程度とは思はざるも若し強て動かすとすれば B 級は特殊安値物に對抗する爲め値下げする代り T 級は外注を標準として値上げる等の方法はあるも之れとて強制すべき程の理由にもあらざるを以て結局据置案に意見の一致を見た。

(イ) 電勵機用珪素鋼板 B 1 級

函入のもの 1 噸に付 金 305 圓(据置)

裸バンド締のもの " 金 295 圓(〃)

(ロ) 電勵機用珪素鋼板 C 1 級

函入のもの 1 噸に付 金 325 圓(据置)

(ハ) 電勵機用珪素鋼板 D 1 級

函入のもの 1 噸に付 金 345 圓(据置)

(ニ) 變壓器用珪素鋼板 T 1 級

函入のもの 1 噸に付 金 420 圓(据置)

(ホ) 2 級品 2 割以内混入差支なし

2 級品の賣價は各々 1 級品賣價の金 30 圓引のこと

(ヘ) 珪素鋼板厚物は 1 級品は金 10 圓引其他のものは 各種共金 5 圓引のこと

2、數 量 珪素鋼の需要は益々旺盛であるが工場關係もあることゝて彼を考察して大凡 1,400 噸見當の受注を發表した。

3、雜 a. 近來珪素鋼板界に於ても諸種の形相が追々と表面化し三 S 會としても將來に對し色々考慮すべき狀態が出現し來りつゝあるに付き慎重協議の結果三 S 會は今迄と同様一層結束を強固にして進むことに一致した旨當所に申出であつた。

b. 輸 出 僅か數年前迄は年間 1 萬噸の輸入を見たる珪素鋼板も今日に於ては品を以て内地向の需要に充足し得るは勿論、已に輸出に轉換し得る迄に發達したるは寔に我電氣機械、電氣鐵板界に執り劃期的事象にて當所にては之に應ずる爲め三 S 會に對し將來能力の有る場合に於ては輸出向の受注をなすことに決定した。

4、締 切 11 月 20 日

Latest current prices of Foreign Electrical Sheets

Tokyo, Nov. 10th 1933.

	English (Ex. 1/2-3/4)		American (Ex. 30-1/2)		
	Stalloy (T)	Special Lohys (B)	Apollo Special (T)	Armeo Trancor #2 (T)	U. S. Electrical (B)
Cif per 2,240 lbs	£27-11-6	£21-2-6	\$133.88	\$135.91	\$105.20
Exchang	¥465.42	¥356.55	¥444.40	¥451.13	¥349.20
Interest 1.3%	6.04	4.63	5.77	5.86	4.54
Imp. Duty	6.77	6.77	6.77	6.77	6.77
Landing Charges	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10
Per long ton	¥479.33	¥369.05	¥458.04	¥464.86	¥361.61
Per 1000 kg.	¥471.75	¥363.32	¥450.80	¥457.51	¥355.82

1、2 月積 9 耗、中丸賣出協議會一 9 耗 2 圓上げ 中丸 据置

月日場所 11 月 10 日 大阪、日本綿業會館

出席者 關東鋼材、製鐵及 4 社

議 事 1、2 月積 9 耗、中丸値段に關する協議

1、9 耗 買手希望もあり、四圍狀勢を參酌して今月は 2 圓上げの左記に決定した。 9 耗 88 圓(2 圓上げ)

2、中 丸 中丸は最近及び近き將來に於ては製鐵所は能力上大凡 500 噸を賣出し得るに止まるが此數量にては市場の需要に適應し得

ず、此儘放置する時は無統制なる外注を誘致する虞あるを以て、今回 4 社にて 2ヶ月に亘り合計 1,000 吨の外注をなし之を緩和することゝなつた。外注値段は 118 圓にて製鐵所は据置きとなし兩者合して 113 圓の 1 本値段にて賣出すことゝした。

右兩件の決定事項は關東鋼材理事會に開陳する手續きを探つた。

1、2 月積中板共販賣出理事會—据置

月日場所 11 月 10 日 大阪日本綿業會館

出席者 東海、製鐵及 4 社

議事 1、2 月積中板賣出に關する件

1、値段 今月は 1 中板物の外注値段の値下りが僅少なりしに反し、2 中板物は 6 志搦みの下放れを見、内地市場は他鋼材同様若干反動安たるは脱れざるも、獨自の境地にある中板には斯る弱氣材料も大して影響せらるゝ事なきも大勢を加味して全部据置きと云ふことに兩者の意見の一致を見て次の通り決定した。

記 1'6 粘 2'3 粘 3'2 粘 4'5 粘
142圓(据置) 137圓(〃) 132圓(〃) 124圓(〃)

2、雜件 a. 先般來中板に就ては狂奔を壓迫する意味と、實需家の需要を充す爲め外注希望ありたるも、共販にて努めて多量を賣出せば今日の状況にては已に外注の時機にあらざるものと認め外注の件は取止めとし、將來は實需家にも値段は別として或程度の満足と與ふる方法を講ずることゝした。

b. 4'5 粘耳付鋼板に關しては過去に於て餘り多量の賣出しをなして、市場の混亂を來したる爲め賣止めとして今日に至りたるも、切板關係を考慮する時は定尺のみにては甚だしき不自由を感じるを以て、今月より若干數量の賣出しをなすことゝした。猶 a、b 兩項の細部に關しては別に協議することゝなつた。

3、締切 11 月 17 日

Chuita January/February

	Jan./Feb.	
1'6mm	£ 7- 1-0	¥ 150.32
2'3	6-13-0	143.73
3'2	7- 5-9	147.40
4'5	6-14-3	137.91
	Ex. rate 1/2. 5/8	

1、2 月積中型山形共販賣出理事會—2 圓上げ

月日場所 11 月 10 日 大阪綿業會館

出席者 日本鋼管、東海、製鐵及東西定期團

議事 1、2 月積中型山形賣出に關する件

1、値段 a. 買手希望 海外は前月に比し 2 志 6 片の値下りを見、爲替も軟調なる爲め河岸着も 3 圓搦みの下鞘を示し、一方内地市場は 1 週間前より反動期に入り賣行不振に基きて高値より 5 圓程度の引緩みを見せて傾向としては不味沈滞となつた。又此先物の入荷期には釜石の進出も懸念さるゝを以て今回は据置とせられたし、若し已むを得ざれば賣止めとせらるゝも苦しからず、との希望あり。

b. 理事會 外注と内地市場の軟調は認むるも、未だ共販建値を脅すには可なりの遠距離にあり、賣止説もメーカーとしては、能力上決して不賛成にはあらざるも屢次の賣止めは定期的性質を沒却することゝなり、寧ろ市場の氣分を刺戟する必要あり、且つ外注を参照する時は此際 5 圓位の値上げが妥當なるべしとの提案をなしたるに買手側が内地市場の軟勢を楯に据置きを固執し結局好調にある不等邊を増加して 2 圓値上げと歩み寄り左の通り決定した。

等邊 96 圓(2 圓上げ) 不等邊 97 圓(〃)

2、數量 a. 不等邊増加希望の件は工場の都合もあり大體 3 割

以内を出すべし。

b. 數量は最小限の 6,000 吨とし之に前月迄の責任残の内地市場關係も考慮し今月來月 500 吨づゝに分割して、要するに今月は 6,500 吨の賣出しとすること。之に對しては買手側は 6,000 吨に留め來月に到つて考慮すべしとの事なりしも來月一度に引き取るよりも分割した方が宜しかるべしとの事にて提案通り 6,500 吨と決定した

3、締切 11 月 15 日

QUOTATION BRASE ANGLE

Osaka 10th Nov., 1933.

Cif. Price	£ 5-5-6 per ton of 2,240 lbs.
Exchange 1/2. 5/8	¥ 88.45 "
Duty	25.06 "
Charges	2.50 "
	¥ 116.01 "
	¥ 114.19 per K. ton.

1、2 月積厚板共販賣出理事會—据置

月日場所 11 月 16 日 大阪日本綿業會館

出席者 川崎、淺野、東海、製鐵及 4 社

議事 1、2 月積厚板賣出に關する件

1、値段 對英爲替は對米と異なり一向動かず、寧ろ磅は硬化し cost は微かに軟調を傳へられたるも爲替に相殺されて河岸着は前月に比し不變、即ち 6-14-3 を 1 志 2 片 16 分の 1 にて換算すれば 140 圓 2 銭となり、内地市況も先月よりは大幅に押されて引緩みを見たるも、共販建値を動かす如き力もなく結局据置きと云ふことに賣手買手の意見の一致を見次の通り決定した。

記 定尺 118 圓(据置) 耳付 110 圓(〃)

2、數量 數量は凡ての状況變化なく先月同様 3,300 吨程度の賣出しとした。

3、締切と發表 11 月 20 日締切、22 日發表

12、1 月積線材共販賣出理事會—内地据置 輸出 5 圓下げ

月日場所 11 月 17 日 大阪甲子園ホテル

出席者 神戸、製鐵及 5 社

議事 12、1 月積線材賣出に關する件

1、買手要望 線材は他鋼材と異なり、著しく日米爲替浮動の影響を甘受すべき状態に晒された。

昨日迄は米國物 33 弗見當、安値物と雖も 32 弗 75 仙位にて現在の共販値段と睨め合せて猶若干でも順軌の状況であつたが、今朝に到つて 31 弗が成立するやも知れずとの噂も流布され、一方大陸物も英米爲替 5 磅 30 仙とすれば大陸の 6 磅は 31 弗 80 仙の採算となる事より判斷すれば 6 磅の出現も不可能とは斷言し得ず、將して然らば早晚共販値段は値下げすべき運命にある様に思はれる、此際の處置として手持關係等より据置と云ふ妥協案も一應は考へらるゝも、斯る不徹底の状態に置く時は徒に外注思惑を誘ひ將來の市況を混亂せしむる虞れもあれば數量は賣出して値段は此爲替の動搖の歸趨を見る爲め來月初め迄決定延期せられたし。

2、理事會 買手側要望も一應は理論上肯定さるゝも共販としては從來外注追従を基準として一路邁進し來りたる上、先行の硬軟は全く主觀の相異に屬し共販が此際延期して市場の標準を失はしむる事は反つて市場をして危虞の念を誘發せしむるを以て寧ろ總ての状態を平靜に受入れ、豫想さるゝ最悪の外注値段を基準として單純に

値段を決定し、數量に就ての買手の要望は製品は賣行不振ながら工場作業を繼續せしむる爲め相當數量の賣出希望なるも、要するに製品賣行不振なれば原料を減少せしむるが最上の策なれば共販の工場状態も加味して前月に比し若干減少するも輸出物はポンド物輸入を抑制せしむる爲め前月同様とするが可なるべしとの意見により左の通り決定した。

1、値段 内地向 120圓(据置) 輸出向 100圓(5圓下げ)

數量	内地向	輸出向	計
製鐵	1,300噸	700	2,000噸
神戶	2,700噸	1,300	4,000
計	4,000噸	2,000	6,000

3、締切 11月20日

ブラッセル齋藤囑託通信

11月14日 入電 市場幾分立ち直り、引合も増加す。

10月28日 發信 市況は引續き磅及弗相場動搖と國際政況案じの爲め總ての買手は手控へ居り頗る閑散の成行に御座候 fob 相場は共販協定値段に釘附と相成居候得共 cif 値段は地方より磅下落の爲め運賃其他の格安に伴ひ引下を行ひたるもの多々有之候鐵鋼カクテルは先報通り内部に不平分子を生じ殊に2月成立の際最後迄で最も頑固に異議を唱へ辛じて年末迄の假契約にて納得せる當國のクレーベク工場は先日株主總會にて愈々豫定通り年末迄にて一應カルテルを脱退すると聲明致候へば之れを機として明春に入らば又々カルテルは事實上その機能を失ひ解消するに非ずやと申居候。

本年々初より9月迄の9ヶ月間の白耳義鐵鋼生産量は

	銑鐵	鋼塊	鑄鋼	鋼製品	鐵製品
	2,089,300噸	2,067,000	40,700	1,611,900	26,900
去年同期	2,076,600噸	2,050,800	37,500	1,507,000	28,000

東京市況

丸鋼 細丸は大阪の伸鐵が10圓40錢前後と比較的底堅くはあるし東京では出廻り少き物の爲め下げ溢り、9mm及びベース丸は入荷順調に、荷動も無くて勢ひ軟弱は避けられないが近來の穩健なりし推移が幸して尙一段の下押しもなく丸鋼組合の申合せ範圍内に止つて未だ9圓臺を割る物なしと云はれてゐる。中丸は入用も多いものであるし市中在庫も尠く旁々能力の關係上4社の外注と云ふ變態的狀態を見るに至つたので市況不味ながら氣配さして悪化せず80mm以上は12圓以上を唱へられてゐる。丸鋼は大勢に押されて一列に沈靜、軟弱ではあるが先行は無下に悲觀されてゐるのではなく一縷の望を持たれてゐるので動搖少しと云はれてゐる。太丸は賣行多からざるものなれば他に連れて高下するに止り、相場も13圓見當に保合つてゐる。

角、平鋼 共に賣行撻々しからざるに地方筋よりの引合も無くて下押ししてはゐるが震幅寡鈍の物なので先走る事なく微溫的に頽勢を辿つてゐる。角、細物は伸鐵に押されて小甘く10圓30錢臺に下押ししたが19mmは品薄の爲め保合ひ32mm以上は賣行の停止にテリ貧ながら不相變の品拂底に12圓50錢以上を唱へられ就中特殊物の38mm、44mm、50mmは⑤の積出少き爲め呼値は13圓と駢りを傳へられてゐる。平、⑤分野は比較的下げ足鈍く、1、20錢方の下押しに止つてゐるが民間物は引合皆無の折柄在庫も潤澤なので10圓臺割となり6×65、9×50、9×65等9圓6、70錢を唱へられてゐる。

型鋼 小山形は地方筋への賣行益々減退し、⑤品の入荷もあつて軟弱、11圓割で賣應すると云はれ、ベースは需要に對する期待外れと買疲れと釜石の進出と云ふ芳しからぬ材料が重つて閑散不湧ながら鋼管物の入荷も順調ならず舶來物減少しつつあるので大型物

とは趣を異にして入用起り次第引戻す氣配ありと見る向もあつて先行に一縷の望が繋がれてゐる。大型物は入荷は多くはないが長らく躍つてゐた物丈けに値頃訂正の反動安で4、50錢方急落し、不等邊鋼管サイズは品不足と東西共に引合がボツボツある處から小甘い程度に止り10×90×125の如き弱含みながら保合つてゐる。當所物は是れ亦等邊同様需要不振と行き過ぎの爲め一路軟勢を辿つてゐる。溝形及び工形は復々暴落して溝の10×90×300と云ふ特殊物が50錢方下押ししたとは云へ、16圓見當を唱へられてゐる他は、13圓臺は殆んど影を消して軒並慘落、而も他鋼材に比して値幅のある處から安値を突込んで賣りに出る向もあるので氣配一段と弱含みと云はれてゐる。

鋼板 弱氣を知らぬ中板界にも遂に軟風は吹き初めて稀らしくも悲鳴を聞くやうになつた。一時17圓まで買のあつた1'6×4×8も外注安から腐り初めて暴落し3×6、5×10も入荷順調の爲め利喰急ぎに一路下押しとなり23も品薄に値頃はいが引合も皆無なので1'6に押されてテリ貧に轉じ32は値上りが激しかつたので軟化の急先鋒となつて5、80錢の急落を告げ之れと反對に45は大して躍りもしなかつたので下げ足も鈍く相場は13圓3、50錢を唱へられてゐるが引合の都度安値に追ひ込まれるのでむしろ賣應せずに手持に藏ひ込むと云はれてゐる。厚板は中板程度氣配不良ならざれば共大勢に押されて軟化は免れずテリ貧商狀を呈してゐる。

大阪市況

丸鋼 11月の聲を聞いてから下向き歩調に轉じた我鐵鋼界は表面的に指數だけ見てゐると續落又續落の感を深くする、けれ共見逃さないのは或る寸法ものにいたつてはその相場が跛行的の騰落を演じてゐることである。昨今市場で硬軟兩論がとり交はされてゐる所以もむべなるかなであらう。然し乍ら四圍の事情からして徒らに先行樂觀することも考へものであるが、さりとて悲觀するにも及ぶまいと見られ要は一般財界の動きを直視し、換言すれば大きい流れを正視し徒らに岸邊のさざ波の中ではね廻つてゐては永久に商機をつかむことが出来ぬであらう。

6mm、8mmは賣行撻々しからざる所へ原價高のため伸鐵組合の統制も利かず抜賣する手合も相當あるため相場は不伸。9mmは市中在庫は普通であるが荷動き弗々ある所から保合。12mmは定尺物は凡調なるも長尺物の賣行は良好。ベース物は荷動き弗々あるもメーカーよりの荷廻り順調なるため相場は伸びそうで伸びない。中丸は過般製鐵所の値上げ發表も賣行撻々しからざるため市中相場は居据り狀態である。然し80mm及び90mmは品掠れにて13圓2、30錢見當を唱へられてゐる。太丸は前旬來引續き堅調。

我を守る星はいづれぞ冬の空

角、平鋼 角鋼細物は最近印度方面より相當纏つた注文に接し爲めに市場は好調を示してゐる。7/8"13"は極度の品掠れにて高値を示し就中1 1/2", 1 3/4", 2"等は14圓と光つてゐる。平鋼は先旬までは荷動きも相當活況を呈してゐたが昨今では釜石及び日本鋼管より安値品の入荷ありたる爲め寸法によりては10圓臺割れるものもある。

型鋼 小形アングルは釜石並に製鐵所より安値品の注入及び伸鐵品の手當との三重奏のため在庫漸増の態といはれ且つ地方筋も總見送りであるので相場は一舉に50錢方の反落を演じた様子である。中形アングルは概して品薄であるがアウトサイダー其他の事情のため不湧、先般共販の値上げも大した影響はないとのことである。然し某建築方面よりの相當纏つた引合が出たとの噂に目先幾分期待さ

れてある。大形アンゲルは當所の積出順調なため氣配は安値観ひに小浮動を續けてゐるようである。ジョイスト及びチャンネルは當所よりの積出しに相場は茲許頭打ちとなつた。然し目先惡材料は不見當。

鋼板 1、2 中板は先般來仕手關係で一高一低を繰返してゐたが昨今ではこれら思惑分子が態度を急變して待機の姿勢をとるにいたつたので相場も先旬來一舉に 3、50 錢方反落したやうである。厚板は一般に期待されてゐたがその割には賣行良好ならず閑散そのものゝやうな場面を呈してゐる。

線材 共販並にアウトサイダーよりの出廻り不順なるため市中在庫はさしたる事はないが何分にも先月下旬より爲替急騰の餘波を受けて製品輸出の停頓を來し爲めに相場は下向き歩調に轉じた模様である。

鐵力板 凡人の端倪を許さざるものに昨今の爲替がある。秋の空も、猫の眼玉も三舍をさくる轉變ぶりを示してゐる。従つて我鐵力屋さんも或は赤くなつたり或は青くなつたりして商内が落付いて出来ないやうである。

販賣旬報 第 249 號 昭和 8 年 12 月 1 日

製鐵所販賣部

製鐵所 1、2 月積の先物の申込と引受

申込 2 萬 2,000 噸
引受 3,000 噸

先月 3 萬 7,000 噸の申込に豪華の頂上を誇つた大型物は今月に於ては 2 萬 2,000 噸と一舉 1 萬 5,000 噸の減少となつた。此の現象は直ちに市況の反映と云ふことが出来る。

地方別に見ると先月 1 萬 7,000 噸と云ふ勇ましい掛聲を聞かせた東京は急に脊を挫いて 9,000 噸に極減したが、それに比すれば大阪方は未だ 1 萬噸臺を保持して居る處など地力の然らしむる處である。品種別では軒並みの減少ではあるが特に溝の減少率の多いと云ふことは先月の申込が市況に眩惑されて多きに過ぎたとも考へられる。

1 2、月積先物申込高

場 品	地	東 京	大 阪	名古屋	其 他	合 計
角	鋼	300	—	—	—	300
平	鋼	—	—	—	—	—
等	山	2,450	2,860	10	—	5,320
不	山	3,650	5,340	230	130	9,350
溝	形	2,545	4,085	165	100	6,895
工	形	—	—	—	—	—
合 計		8,945	12,285	405	230	21,865

引受は先月が緩和の意味で 4,000 噸と思ひ切つて増加させたが、今月は市況も軟化し強いて賣り出す必要も認められないので統制の意を加へて還元して次の通り 3,000 噸に止めた。

大 型	4 型	2 中	計
2,000 噸	700 噸	300 噸	3,000 噸

12、1 月積の工場別引受高は次表の通りである。

12、1 月積先物引受高

工 場	品	1、2 小形	3 小形	1 中	2 中	1 大	2、3 大	4 型	合 計
角	鋼	—	—	—	—	—	—	—	—
平	鋼	—	—	—	—	—	—	—	—
等	山	—	—	—	—	—	200	56	256
不	山	—	—	—	34	—	129	—	163
溝	形	—	—	—	559	145	1,153	912	2,769
工	形	—	—	—	—	—	692	125	817
合 計		—	—	—	593	145	2,174	1,093	4,005

製鐵所 12、1 月積鐵力板賣出協議會一大幅値下

月日場所 11 月 20 日 製鐵所東京出張所

出席者 製鐵、4 社及東京問屋

議 事 12、1 月積鐵力板賣出に關する件

1、買手希望 弗爲替の變調に伴ひ米國物の變動甚だし、大阪の入電に依れば最低 7 弗 50 仙、之を 30 弗 8 分の 3 にて換算して 26 圓 26 錢となるも一方 18 日 東京の入電は 7 弗 92 仙にて之は當然 27 圓以上と云ふ大幅の懸隔ありて真相の把握困難なれば先づ妥當と思はるゝ別項のものを見ても先月に比し下放れの現象を見、又今日は爲替の浮動甚だしき折柄如何なる變化あるや豫測し得ざるのみならず、内地市場は軟調改まらず、春以來常に不運の連續なれば、之等を考慮し 170 封度 25 圓 50 錢 100 封度 13 圓 50 錢とせられたし。

2、賣手提案 製鐵所も今迄値段の保持に努力しありたるも、四圍の情勢斯くなる以上、此儘に放置する時は却つて環境を惡化せしむる虞あるを以て此際相當値下げを敢行する必要があるも一舉に極端なる値下げも市場を混亂せしむることも考慮し、外注を参照して 170 封度 26 圓 100 封度 14 圓とすべしと提案したるに對し 今年は松茸の不作等に患されて 100 封度の需要特に減少したるを以て 100 封度を今少し値下げせられたしとの希望ありたるが、製鐵所としては値段を下ぐるよりは寧ろ數量的に整理するが適當なるべしとの趣旨により 170 封度 100 封度の比率が 70%、30%なりしを特に 80%、20% として數量は 400 噸とし値段は製鐵所提案通り次の通り決定した。

記 170 封度 26 圓(1 圓下げ) 100 封度 14 圓(60 錢下げ)

3、數 量 數量に就ては買手は製鐵所が増産の意志表示をなし外注を抑制する意味より賣出數量を増加されたしとの希望ありたるも、製鐵所の増産は已に周知の事實にて來月よりは製鐵所數量の賣出増加はなし得るを以て、今月強て賣出す必要もなきを以て來月の賣出増加を豫期して今月は豫定の通りの賣出しと決定した。

Quotation for Tin Plate Dec./Jan. Shipment

German Make	100 lbs.	170 lbs.
Cif. Price	£ 1-10-9(200 lbs.)	£ 1- 9-0
Exch. ½-¼	¥ 26.24	¥ 24.75
	¥ 13.12	
Interest (1.3%)	.17	.32
Duty	.72	1.22
Charges	.08	.15
	¥ 14.09	¥ 26.44

製鐵所 1、2 月積鐵板賣出協議會一据 置

月日場所 11 月 22 日 製鐵所東京出張所

出席者 三井、安宅及製鐵

議 事 1、2 月積鐵板賣出に關する件

外注は 5 志方下押しを見、劉英爲替が硬化したる爲め前月より 3 圓の安値採算となるも、内地市場は品不足に基因して市場は東西共 200 圓以上を彷徨して居る。元來鐵板は平靜な消費傾向を辿つて來たが、本年に入つて造船界の活況によつて異常な需要が勃興した爲め、當所の數量位にては如何ともすること能はざるも買手としては成るべく多量の賣出希望であつた。

結局彼之綜合して次の通り決定した。

- 1、値 段 4.5 耗 140 圓(据置) 6.0 耗 137 圓(〃)
- 2、數 量 概ね 300 噸程度

Cheq. Plate Jan./Feb. Shipment

22nd Nov., 1933.

Cif	£ 7- 3-0
Exch. ½	¥ 122'57
Duty	25'06
Charges	2'50

¥ 150'13

per K. T.

¥ 147'77

12、1月積特線會一賣止め

月日場所 11月28日 製鐵所東京出張所

出席者 岩井、安宅及製鐵

議 事 12、1月積特殊線材賣出に關する件

11、12月積は10月20日製鐵所に於て賣出協議會を開き1,005
 吨賣出したが、今回は一般線材の悪化に影響されて、軒並みに落調
 を見せ買氣も鎮磨し、且つ積出し整理の必要もあれば今回は賣止め
 することとした。外注値段次の通り。

SPECIAL WIRE RODS

November 28th, 1933.

Dse./Jan. 1933/4 Shipment

	High Carbon	Copper Bearing	Wood Screws
Cif	\$ 34'50	£ 6- 9-0	£ 6-17-3
Exch. 30%	113'58	Exch. ½d. 110'57	117'64
Int. 1%	1'14	Int. 1'3%	1'53
Charges	1'20	1'20	1'20
Duty	22'01	22'01	22'01
	137'93	135'22	142'38
Per 1,000 kgs.	¥ 135'89	¥ 133'22	¥ 140'28

	Welding	Low Carbon	Thick Gauge
Cif	£ 6- 3-3	£ 6- 2-6	£ 6- 5-0
Exch. ½d	105'64	105'00	107'14
Int. 1'3%	1'37	1'37	1'39
Charges	1'20	1'20	1'20
Duty	22'01	22'01	22'01
	130'22	129'58	131'74
Per 1000kg.	¥ 128'30	¥ 127'67	¥ 129'79

Telegraphic

Cif	\$ 32'00
Exch. 30%	105'35
Int. 1%	1'05
Charges	1'20
Duty	22'01

Por 1000 kgs. ¥ 127'60

10、11月積中型山形鋼の申込

是れは8月11日に賣出協議會を開催された、10、11月積の申
 込數量なのである。積月の11月も終り頃とならなければ揚地も寸
 法も分明せず賣出し當時に只賣つた買つたで取引が成立して其の儘
 今日に及んで居るので其の間如何とも致し方が無いとの事である。

中山が是か、他鋼材の直ちに締切が出来るのが非か、

中山に限つて此の事のあるのは人の罪か、組織の罪か、

等考へさせられる處はあるが兎に角上述のやうな理由で中山の申
 込數量を掲載するのは今後共大變遲延するのを前以て御諒承願ふと
 同時に掲載の意義も大部分減殺されるので義理に數字のみの羅列に
 止める事をも併而諒とせられ度い。

10、11月積中型山形鋼申込高

揚地 品名	京濱揚	伊勢灣揚	阪神揚	計
等邊	1,235'0	232	1,521	2,988'0
不等邊	564'8	—	450	1,014'8
計	1,799'8	232	1,971	4,002'8

12、1月積線材の締切—申込1萬7,000吨

製品たる釘、針金は賣れぬし値段も安く、在庫も相當あるし先行

も大して期待しては居らぬが、原料たる線材の數量は欲しい、と云
 ふ買手の御説明のあつた12、1月積の線材は別表の通りの申込即
 ち内地輸出合せて1萬7,000吨となつた。素人考としての常識か
 ら云はせれば製品が一向期待されないのに原料は充分食はせると云
 ふ理論は一寸首肯し兼ねる、元來製線鋼業は去年の好況以來交代も
 増すし、増設もして、かなりの能力の増加を來した今日、不況が來
 てもそのまゝに操業させると云ふことは悲境に拍車を掛ける様なも
 のだから、此際は減食させて立直りを期すべきものと素人は考へる
 がそこが玄人で吾々の想像外の理由が存在するものであろう。

數量から眺めると内地も輸出も前月より減少したのは要するに製
 品の不況が然らしめたもので申込に現はれる趨勢と云ふものは寔に
 正確である。

引受は減食療法と積出關係を加へて2で割つて内地4,000吨、
 輸出2,000吨とした。

12、1月積線材申込及引受高

區別 向先	申込高			引受高		
	神戶	製鐵所	計	神戶	製鐵所	計
東 京	2,210	2,130	4,340	680	612	1,292
大 阪	3,950	1,880	5,830	2,020	423	2,443
名古屋	—	310	310	—	215	215
其 他	—	140	140	—	50	50
計	6,160	4,460	10,620	2,700	1,300	4,000
輸出	3,240	2,845	6,085	1,300	700	2,000

12、1、2月積中板の申込と引受—申込7,000吨

中板の趨勢は例の通り東京のみによつて判斷するのであるが、賣
 出の時の状況にもある通り、要するに値より數量が欲しかつたので
 東京の申込も前月の3,600吨に對し今は5,000吨に増加した。

現在の市況の傾向としては決して香ばしい事は無いが値鞘には可
 なりの開きがあるので申込も當然多いものと思はれる。

引受も積月の關係もあつて800吨許りの増加となつた。

12、1、2月積中板の申込及引受高

區別 向先	東 京	大 阪	名古屋	其 他	計
16mm	1,290	430	130	15	1,865
23	920	190	55	—	1,165
32	1,725	577	220	15	2,537
45	1,135	198	115	10	1,458
計	5,070	1,395	520	40	7,025
16	355	430	70	15	870
23	200	190	30	—	420
32	400	577	60	15	1,052
45	265	198	40	10	513
計	1,220	1,395	200	40	2,855

1、2月積小型山形鋼の締切—申込2,800吨

11月11日に締切つた結果は次表の通りである。

一時あれほど騒がれた小山も類勢支ふべくもなく先月4,000吨の
 申込を見たものが今月は2,800吨に減じた、然し160吨の昔を顧
 ゐると決して贅澤は云へた義理ではあるまい。

不況に際して直ちに伸鐵の脅威を感じる運命の下に置かれた小山
 は平常の哺育が特に切要なので今月も1,200吨の引受けとした。

1、2月積小型山形鋼申込高及引受高

區別 向地	申込高			引受高		
	釜 石	製鐵所	計	釜 石	製鐵所	計
東 京	205	1,070	1,275	205	250	455
大 阪	320	1,085	1,405	320	300	620
古 屋	52	88	140	52	35	87
其 他	23	21	44	23	15	38
計	600	2,264	2,864	600	600	1,200

1、2 月積厚板共販締切理事會一申込 1 萬 9,000 吨

月日場所 11 月 23 日 製鐵所東京出張所

出席者 淺野、東海及製鐵

議 事 1、2 月積厚板締切に關する件

1、申 込 今月の厚板の申込も恒例通り 1 萬 9,000 吨と前月と大差ない數字を示して居る。

世人は嗤ふ當然賣出に超過する申込を探つて何の益があるかと。之は楯の半面のみを見る近眼主義者の言で是が譬へ嘘であつたとしてもそれが度重なれば眞實となると云ふ面白い現象が分らないのである。統計の妙味は親の意見と同様現在では馬鹿らしくも 20 年、30 年の將來に於ては非常な參考となるものである。時には無駄も必須のものである其意味から是非繼續して欲しい。

厚板も此申込の平衡が破れる時が市場に變化があるときである。それから判斷して今月の市場の趨向には前月と大した變遷が無く未だ堅調を保持して居るものと斷言して誤りはない。

然し前月より 1,000 吨減つただけ 若干軟化したと云ふ事は好く市場其儘を映して居る。地方別でも大阪が東京に比し減少率の多いのは、大阪が東京より軟調の度が強いと云ふ證左となる。

2、引 受 引受數量に就ては今更減らす事も出來ずきりと増す能力も無く寧ろ已むを得ず恒例通り 3,640 吨としたと云ふ方が當つて居ると思はれる。

1、2 月積厚板申込及引受高

向 先 別	東 京	大 阪	名古屋	其 他	計
川 崎	—	2,460	—	—	2,460
淺 野	2,535	470	—	340	3,345
東 海	435	690	—	100	1,225
製 鐵	3,410	4,790	—	30	8,230
無 指 定	480	3,080	—	268	3,773
計	6,860	11,440	—	733	19,033
引 受 高			3,240		3,240
(耳 付)			400		400
(定 尺)			—		—
(切 板)			3,640		3,640
計					

ブツラセル齋藤囑託通信

11 月 5 日發信 今週の市はツーサン祭の當日に當り休日と相成申候へ共一般人氣は引續き米國に於けるルーズベルト大統領のインフレーション政策による弗爲替相場暴落とこれに引連れて磅相場の弱氣と獨逸の政況とが共に一般歐洲財界に悪影響を及ぼし不安の人氣に蔽はれ居候へ共相場は共販機關の統制の爲手堅く近く或品種のものに對して値上げさへあるべしと申候へ共カルテルは先便に申上候通り本年一杯で又々崩壊するやにあらざるやとの懸念益々深く有候

9 月中ルクセムブルグ大公國鉄鐵生産量 13 萬 9,600 噸 (8 月中 14 萬 3,200 噸) 鋼塊産量 13 萬 4,500 噸 (8 月中 14 萬 3,300 噸) 火入中の高爐 21 基内アルベド 13 (25 中) ハデイール (13 中) ウグレー 2 (5 中)

東 京 市 況

丸 鋼 丸鋼組合の申合せは 93 圓で 90 圓迄は致し方あるまいと云ふ事であつたが、其後需要も一向興らず、近來はとうとう痺を切らして何時の間にやら申合せも解消してズルズルベツタリに臺割れとなり、甚だしいのになるとアウトサイダーと稱するものが 85 圓の賣物さへ出したと云はれて氣配訝へず 9mm も其傍杖を喰つて數量的に見て大した過剩も無い様であるが 90 圓も危ふしと云はれて居る中丸以上も下げたい氣持ではあるが、例の 4 社の外注も支へとなつて豫想よりは下漕つて居る。

角、平鋼 角は例によつた例の如く進むも退くも寔に鈍く細いものは軟弱ではあるが 32, 38 などは不相變 12 圓臺を保持して居る。平は 5 分野物は割合に駢りであるが民間サイズ特に釜石サイズの 38, 50, 65 などは積出が順調過ぎてと云ふ珍らしい理由で下放れを見せて居る。

型 鋼 中型山形は前旬までは一抹の危虞の念は持ち乍らも、兎に角足取だけは至極順調に 10 圓 20 錢まで買はれたが一木のように支ふべくもなく遂に軟派に轉向して昨日今日は大臺割れの 80 錢まで陥落した。大型山形は在庫は少いが賣行が伴はないので活氣なく不等邊は共販サイズはベースは連れ出荷も見たので軟調を傳へられて居るが、7×90×125, 7×75×125 などは未だ積出無き爲め高値を保つてゐる、溝、工等總じて大型物は今の處は中途半端なので賣買共捗々しくないが思ひ切つて下放れて先物値段まで鞘寄せをすれば當然買氣が勃發する氣配であるが、それまで落して賣るまで手元不如意でもない爲め却つて灰汁脱けが遅いと見て居る筋もあるが、暫くは此邊を彷徨するものと見られて居る、兎に角安値物の値段に平均される形勢からすれば環境は不味である。

鋼 板 中板は目先大體底入と見られ、1、20 錢の僅少な往來を見せて居る、16 は利喰ひ跡を絶たず、大した需要も見當らぬがきりとて思ひ切つた安値物も現はれない。23 も今迄頑張つた筋も一寸飽き氣味で不冴、32 だけは最近朝鮮羅津の築港に 1,000 吨以上の需要があつて 5×10 だけでも 7,800 吨 4×8 が 500 吨とか一寸夢の様な話が出て重に西筋で買漁つてゐるらしく 4×8 も一時 13 圓 5、60 錢まで押したものが最近 14 圓臺を恢復したと云はれて居る、45 は品薄で駢り、6.0 以上は上下共動かず釘付けと云はれて居る

大 阪 市 況

丸 鋼 先旬來相場は概して 1、30 錢方下押したようであるが相場が少々高くとも、また安くとも一向感興を唆らぬ、従つて市場は不氣乗閑散、而して雲を掴む如きインフレ景氣に十二分の期待をかけてゐる手合の押目買にすら容易に相場が動かされるのも無理からぬと云はれ、この間從來と異なる點は軟材料に對しては比較的鈍感で強材料に對しては存外響き易くなつたことで、これは値頃の鍛鍊された反映と見られぬでもない。けれ共、この際海外および内地の財政經濟事情が急變せぬ限り目先不透明の商狀を繰返すより他あるまいと見られてゐる。

6mm, 8mm は概ね伸鐵品であるが伸鐵組合よりの市場注品は順次消化されてゐるが四圍の事情から今一段の飛躍は見られない模様である。9mm は當所定尺物及び伸鐵切揃品の出廻り豊富なため相場は先旬來 10 錢方反落。12mm, 16mm 等は能率の關係上メーカーは多量生産をせざるため市中品薄と相俟つて相場はカッチリしてゐるベース物は鐵筋方面よりの注文杜絶のため市中ストック漸増の有様に従つて相場は遂に 9 圓を割るにいたつた。中丸は一時拂底を傳へられてゐるが最近當所よりの積出ありし處へ賣行も幾分鈍つたため 1、20 錢方下押。太丸は荷動き捗々しからざるも先づ採算點を維持。

芭蕉忌や我句天下に未だ鳴らず

角、平鋼 角鋼は概して品薄で従つて相場は 10 圓 1、20 錢見當である。就中 32mm, 38mm, 44mm 等は順次注入あり且つ昨今の丸鋼の不振をながめて氣配は軟弱を傳へられてゐる。50mm 以上のものは當所よりの出廻り不良なため相場は 12 圓以上を唱へられてゐる。平鋼は伸鐵品のみであるが供給不足から相場も 10

圓カッチリを唱へられてゐる。其他のものは荷動き捗々しからざる所へ民間メーカーよりの出廻り良好なるため相場は 1、30 錢方下押しした。

型鋼 小型アングルは相變らず賣行捗々しからず従つて市中在庫は豊富となり相場も辛ふじて採算維持程度と云はれてゐる。中型アングルは東京の不味を移して氣配は茲許鈍重保合といはれ釜石の該品製作中止の報も大して響かぬといはれてゐる。大型アングルは一時より幾分値下げありしも當所販賣部のコントロール宜敷きため堅調を失はず。ジョイスト竝にチャンネルも概して手堅き含みで保合つてゐる特大寸法ものは市中偏在の有様と云はれ従つて相場は區々と云はれてゐる。

鋼板 1、2 中板は需要一巡の態であるが入荷少きため市中相場はカッチリしてゐる。舶來品も弗々入荷あるも大した影響はないようである。厚板は引續きアウトサイダーよりの荷廻り順調なるため相場は頭重い。

線材 共販よりの積出しも寥々たる有様で且つアウトサイダーも大したこともないので市中在庫は豊富ではないが製品安原料高で輸出停頓と相俟つて相場は伸び悩みの態と云はれ目先突飛な材料でも出ぬ限り現状維持程度と見られてゐる。

鐵力板 市中在庫は多い方ではないが何分にも荷動き捗々しからざるため相場は頭重い。而し各間屋共原價が相當高くついてゐるのむげに安賣するやうな事も先づあるまいと見られてゐる。

11 月中の日誌

1 日 アイアン、エーデ誌調査に依れば最近一週間の米國鐵鋼業生産率は急落して 26 パーセントとなつたと。因に先週は 31 パーセント、先々週は 39 パーセント。

○スチール株は 37 弗 4 分 3 短期新東は 207 圓。

2 日 ろ號 4 分利公債 4 億圓發行さる、但し内 1 億圓は預金部引受。

○米國の外國金買上げは聯銀を通じて開始さる。

3 日 昨年 3 月以來大太平洋に集中されてゐた米國艦隊の主力は明春大西洋に歸還と決定す。

6 日 ニューヨークに於ける米英クロスは 4 弗 91 仙 4 分 1 を示し平價 (4弗866) を突破して 1914 年來の高値となる。

○10 月中三港輸入は一路減退を辿り 1 萬 3,000 噸となる。

○本日の外注値段 cif は前回入電より 9 片方下落したが爲替關係に依り河岸着値段はむしろ強氣含みとなる。

Bar Base 5-5-6 Angle Base 5-5-6 Plate Base 6-14-3

7 日 英國商務大臣は下院に於て 12 月 7 日より關稅休戰協定脫退を聲明す。

○日銀調査に依れば 10 月中の卸賣物價は前月に比し 1 分 1 厘方低落したが洋鐵指數は 5 騰貴して 118 となり前年同月に比しては 18 の騰貴。

8 日 東西市況は閑寂、全般的に軟化す。

9 日 紐育市場に於ける英米クロスは 5 弗 15 仙。

○美裝鋼板賣出協議會開催鳩印値上さる、尙ほ今回より新製品青鳩を賣出す事となる。

10 日 1、2 月積丸鋼 9 耗は 2 圓上げ中丸は据置。

13 日 獨逸に於ける國會總選舉及び政府信任人民投票の結果はナチス壓倒的の勝利を博す。

14 日 正金は昨年 6 月以來久々にして對米アクセプタンスレートを 30 弗に引き上げ。

○伊太利は下院を廢し職業代表を中心とする新立法機關設置を聲明す。

○外注 cif は前電と變らざるも爲替關係に依り河岸着は 2 圓方昂騰す。

16 日 大藏省は明年度豫算總額を 20 億 1,700 萬圓と査定す、新規承認額は約 6 億圓。

○米國藏相の辭職説に伴ひ弗貨益々下落し正金は對米爲替を 31 弗に引上げたが對米は 1 志 2 片 16 分の 1 と軟化し市中には 2 片臺割を生ず。

○スチール株は 2 弗 8 分 5 暴騰して 43 弗 8 分 5 となる。

○16 年振にて米露交復活す。

○東西市況は引合皆無に益々頽勢、軒並落調を傳へらる。

17 日 製鐵所 10 月の鋼材生産高は前月に比し 1 萬 9,000 噸の増産。

○東株整理の結果後場より賣人氣旺盛、短期新東は安値 172 圓と前日より 25 圓の暴落を見たが後引き返へして 180 圓前後にて落着く、雜株の動搖比較的少し。

○日銀調査に依れば 11 月中の東京小賣物價指數は前月に比して 9 厘方の騰貴を來し昭和 5 年 9 月以來の高記録を示す。

18 日 解體船業務統制確立の過渡的辦法として 阪神及東京の有力當業者により 3 日會なる 名稱の下に強固なるカルテル組織さる。

○三井物産の銑屑鐵輸入を廻り銑鐵共販の統制に龜裂招來の危機至ると云はる

20 日 支那福建政府獨立を宣言す。

22 日 對米爲替正金建値は 31 弗 4 分 1、對英は 1 志 2 片据置。

○大藏省は金の買上價格を 1 グラムにつき 2 圓 65 錢と發表明日より實施に決定 (1 匁當り 9 圓 94 錢—1 圓 60 錢上げ)。

○米國最近一週間の鐵鋼生産率は 27、5 パーセントとなり前週より幾分見直はす。

○軍縮會議は幹部會に於て 1 月 15 日迄延期と決定。

○日本製鐵評價特別委員會に於て製鐵評價比率は複成式一稼高式 1 と決定、収益の資本還元率は年 7 分原價償却は年 4 分とし複利計算の方法で 17 ケ年間に償却する事に決定すと傳へらる。

27 日 軟調不改東西市況はデリ貧。

28 日 スチール株は 43 弗、新東短期は 167 圓。

30 日 製鐵合同評價審査委員特別委員會にて 資産評價基準全部決定したるに依り 12 月 7 日 評價委員會總會を開き最後の決定をなす筈。

11 月中爲替相場					
區分	對米	對英	區分	對米	對英
11 月 1 日	28- $\frac{1}{4}$	$\frac{1}{2}$ - $\frac{1}{4}$	11 月 17 日	30- $\frac{3}{8}$	"
2	28- $\frac{1}{2}$	"	18	30- $\frac{1}{2}$	"
4	28- $\frac{3}{4}$	"	20	30- $\frac{1}{4}$	$\frac{1}{2}$ -0
6	28- $\frac{7}{8}$	"	21	30- $\frac{1}{2}$	"
7	29-0	"	22	31- $\frac{1}{4}$	"
8	"	"	24	30- $\frac{3}{8}$	"
9	29- $\frac{3}{8}$	"	25	30-0	"
10	29- $\frac{1}{2}$	$\frac{1}{2}$ - $\frac{3}{8}$	27	30- $\frac{1}{4}$	"
11	"	$\frac{1}{2}$ - $\frac{3}{16}$	28	29- $\frac{3}{4}$	"
13	29- $\frac{3}{4}$	$\frac{1}{2}$ - $\frac{1}{2}$	29	30- $\frac{3}{8}$	"
14	30-0	"	30	"	"
15	30- $\frac{1}{2}$	$\frac{1}{2}$ - $\frac{1}{16}$			
16	31-0	"			

東京大阪市中相場

(大阪 上 11月 6 日 中 11月 15 日 下 11月 25 日)
(東京 上 11月 8 日 中 11月 16 日 下 11月 28 日)

寸法	11月上旬		11月中旬		11月下旬	
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
丸鋼						
6mm	11.00	10.50	10.90	10.20	10.80	10.20
9	9.50	9.40	9.20	9.10	9.00	9.00
12	9.40	9.30	9.00	"	8.90	"
19	9.20	9.00	"	8.90	"	8.80
25	"	"	"	"	"	"
50	12.30	12.00	12.00	11.80	11.80	11.50
65	"	"	"	"	"	"
角鋼						
9mm	10.50	10.50	10.30	10.00	10.20	9.80
12	10.40	"	"	"	10.00	"
15	"	"	"	9.80	"	9.50
19	11.00	11.50	11.00	11.00	10.80	11.50
38	13.00	14.00	13.00	14.00	12.50	13.30
平鋼						
mm mm						
6×38	10.10	10.30	9.70	10.00	9.40	9.50
6×50	9.90	"	"	10.10	"	"
6×75	11.70	11.00	11.50	10.50	11.50	10.50
9×100	12.20	"	12.10	10.60	"	"
12×100	12.00	"	11.80	"	"	"
等邊山形鋼						
mm mm mm						
6×50×50	10.30	10.50	10.10	10.30	9.80	9.90
6×65×65	10.20	"	"	10.20	"	"
9×75×75	10.30	"	"	10.20	"	"
9×130×130	11.70	11.70	11.30	12.10	10.90	11.50
12×130×130	"	"	"	12.00	"	"
15×150×150	11.90	"	11.40	12.20	11.00	"
不等邊山形鋼						
mm mm mm						
10×50×75	10.50	11.00	10.20	10.70	10.20	11.00
10×75×100	10.70	"	10.50	11.30	10.00	10.50
10×90×125	10.80	11.50	10.80	11.50	10.50	11.50
9×100×150	11.70	11.80	11.30	12.20	10.80	"
12×100×150	12.00	"	11.50	"	"	11.80

寸法	11月上旬		11月中旬		11月下旬	
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
溝形鋼						
mm mm mm						
5×50×100	13.20	13.00	12.50	13.00	11.80	12.30
6×65×125	13.50	"	12.80	13.50	12.00	12.70
3/8×3"×6"	14.00	14.00	13.00	14.50	13.00	13.50
3/8×3×8	12.50	13.00	12.00	13.30	11.60	12.50
9×90×250	13.80	15.50	13.00	14.80	12.50	15.50
10×90×300	16.50	16.70	16.00	19.00	15.00	17.50
工形鋼						
mm mm mm						
5.5×75×150	12.20	12.00	11.70	13.00	11.20	12.00
7×100×200	11.80	"	11.40	11.80	"	11.30
9×150×300	12.60	11.50	11.90	13.50	11.50	11.50
12×150×350	"	11.00	"	13.00	"	"
10×125×250	12.50	12.00	11.80	12.50	"	"
鋼板						
mm						
1.6×3'×6'	15.50	15.30	15.00	14.80	14.80	14.70
1.6×4×8	16.70	16.00	16.00	15.80	15.80	15.30
3.2×4×8	14.80	14.50	14.40	13.60	14.20	14.00
3.2×5×10	15.40	"	14.60	13.80	14.50	"
6.0×4×8	13.70	13.50	13.40	12.80	13.00	13.00
6.0×5×10	13.90	13.80	13.60	13.00	13.10	"
9.0×4×8	13.40	12.70	13.20	12.60	13.00	12.30
9.0×5×10	"	"	"	12.70	"	"
薄鋼板 (13 枚)						
英 川	69	61.5	56	60	57	59
八 幡	69	61.5	56	60	57	59
鋼力板						
米	lbs					
170	26.50	25.70	26.30	25.70	26.00	25.70
100	14.50	14.40	14.40	14.40	14.30	14.40
170	26.00	26.40	26.00	25.90	25.80	25.80
100	14.00	14.50	14.00	14.00	14.00	14.00
170	26.30	25.70	26.30	26.30	26.00	26.00
100	14.50	14.40	14.40	14.70	14.30	14.50
線材						
No. #	123.00	125.00	120.00	123.50	120.00	123.00

備考 単位 100kg につき (置場値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 箱當り。鋼力板は 1 箱當り。

昭和 8 年 10 月中三港鋼材輸入數量表

(單位噸)

品 種	神 戸	大 阪	横 濱	8 月 計	前 月 計	本年累計	前 年 同期累計
丸 鋼	216	688	565	1,469	1,326	28,859	6,325
角 鋼	57	84	16	157	132	3,746	1,225
平 鋼	36	137	48	221	1,153	13,076	4,757
等 鋼	77	487	729	1,293	1,517	23,328	741
不 等 鋼	93	15	1	109	164	3,833	541
溝 工 鋼	—	—	162	162	374	2,673	526
板 (0.7mm 超)	—	475	—	475	77	925	607
板 (0.7mm 以下)	507	1,081	510	2,098	3,523	69,455	6,248
鋼 力 板	—	—	—	—	35	2,491	10,736
鋼 力 板	446	1,976	1,016	3,438	4,502	53,353	47,077
鋼 力 板	46	542	—	588	363	2,318	3,753
鋼 力 板	247	334	406	987	1,082	22,788	17,339
鋼 力 板	63	—	—	63	497	2,186	9,020
鋼 力 板	9	259	349	617	539	5,627	5,130
鋼 力 板	400	70	799	1,269	1,353	13,417	7,084
計	2,197	6,148	4,601	12,946	16,637	248,075	121,109
硫 石	6,608	—	202	6,810	5,347	76,448	84,048
炭	7	—	—	7	—	106	153
ナ	—	48	36	84	43	2,793	2,725
ク	20	8	51	79	119	1,446	608

昭和8年11月中發表各種鋼材先物建値表

所 屬 別	區 分 種 類	外 注 値 段			建 値 月 日	積 月				備 考
		沖 着	爲替	河岸着		12、1 月 積	1月 積	1、2 月 積	12、1、2 月 積	
關 東 鋼 材	丸 鋼 { 9mm 50mm-100mm ベ - ス	£5-19-6 5- 8-6 5- 5-6	½-¼ " ½- 0	126'17 117'06 116'13	11.16 " 11.24	90		88 105		2 圓上げ 据 "
製 鐵 所	角 鋼 平 大 工 溝 形 鋼 { 鋼 製 鐵 所 分 野 鋼 鋼 法 山 形 時 寸 法	£5- 5-6 5- 5-6 5- 5-6 5- 0-0 5-14-6 5- 2-0	½-⅝ " " " " "	114'19 114'19 114'19 109'65 121'61 111'30	11. 9 " " " " "			106 106 105 101 114 101		据 " 置 " " " " "
中 型 山 形 共 販	中 型 山 形 { 等 不 等 邊	5- 5-6	½-⅝	114'19	11.10			96 97		2 圓上げ "
小 型 山 形 共 販	小 型 山 形 { 3×20mm 3×25mm-5×30mm 5×40mm-6×45mm	6- 8-9 5-14-9 5-10-3	½-⅝ " "	132'58 121'12 117'43	11. 6 " "			108 100 95		据 " 置 " "
厚 板 共 販	厚 板 { 耳 付 尺	6-14-3	½-⅝	140'02	11.16			110 118		据 " 置 "
中 板 共 販	中 板 { 1'6mm 2'3mm 3'2mm 4'5mm	7- 1-0 6-13-0 7- 5-9 6-14-3	½-⅝ " " "	150'32 143'73 147'40 137'91	11.10 " " "			142 137 132 124		据 " 置 " " "
常 盤 會	黑 薄 板 { 13枚物 6 呎 7 呎 8 呎 輸出向 { 13枚物 6 呎 7 呎 8 呎	12-12-6 12- 7-6 12-12-6 12- 7-6	½- 0 " " "	234'52 219'69 196'56 183'52	11.25 " " "	賣 止 め				賣 止 め
	黑 厚 板 { 12 枚物 11 " 10 " 9 " 8 " 7 " 6 " 5 " 4 " 3 "	11- 0-0 9- 0-0 7-15-0	½- 0 " "	230'60 196'42 163'41	" " "					
線 材 共 販	線 材 { 內 地 向 輸 出 向	\$32'75 \$ 31		127'66 105'98	11.17 "	120 100				据 " 置 5 圓下げ
製 鐵 所	鍍 力 板 { 170lbs 100 珪素鋼板 { B-級 (函入) { C-級 D-級 T-級	1- 9-0 1-10-9(200lbs) 21- 2-6 27-11-6	½-⅝ " ½-⅝ "	26'44 14'09 363'32 471'75	11.20 " 11.14 "	26 14	305 325 345 420			1 圓下げ 60 錢下げ 据 " 置 " " " 鳩値上げ (青鳩賣出し)
	美 裝 鋼 板 { #18以下 { 鷲印 1'6mm以上 { 鷲印 鳩印	7- 3-0 8-17-0	½- 0 ½-¼	147'77 180'55	11.22 11. 7	176		發表せ ず mm 43 140 60 137		据 " 置
	編 ス コ ッ プ 用 鋼 板	7- 3-0 8-17-0	½- 0 ½-¼	147'77 180'55	11.22 11. 7	176				次同三軌會迄 150 圓 据 " 置
	重 軌 條 (繼目板共)	5-13-8	½-⅝	115'20	11.13			115 113		次同會議迄 155 圓
	輕 軌 條 { 10 哩 未 滿 10 哩 以 上									
	鋼 矢 板				2. 8					

昭和 8 年 10 月中神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表 (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		2 7/8"	2	7/8	3	造船材料		丁形鋼		電氣鐵板		鋼管の部	
丸鋼	mm	3	2	1	12	mm	3	(造船材料)		0.014"	4	鋼管	
		3 1/8	2	1 1/4	10			0.5mm	51	7/8"	2		
5	5	3 1/4	2	1 1/2	25	50	16	mm mm	160×160	63	10	7/4"	14
7	1	23mm	1	2 1/16	31	65	29	計	63	計	65	7/8"	8
10	1	28	1	3 3/8	59	75	5					縞鋼板	1
44.45	1	60	1	3 1/2	157	90	9	型鋼計	2,793	6	16	1 1/8"	8
50	100	65	3	4	4	100	1	條鋼計	6,329	8	11	1 1/4"	5
50.8	1	75	6	4 1/8	15	120	2	鋼板の部		計	27	2	41
55	54	計	174	5 1/8	2	130	1	(鋼板 0.7mm 超)		170	474	2 1/2"	14
60	51	丸鋼計	1,464	5 3/4	2	150	1	1/16"	181	100	155	3 1/4"	7
65	103	角鋼	鋼	6 1/4	21	180	11			sheets	24	90	5
70	33			7 1/4	12	計	77	3/16"	107	100	20	80	20
75	54	7 5/8	11	造船材料	mm mm	1	119			90	5	60	25
76.2	1	8 5/8	5	不等邊山形鋼	mm mm	15	1	40	4	50	9	6 1/2"	7
80	31	3/8"	7	9	50	溝形鋼	mm mm	1	1	40	4	7	18
85	22	7/16"	15	10	31	寸法不明	mm mm	2	1	mixed	36	8	46
90	33	1/2"	13	11	35	計	mm mm	2	1	oil size	1,216	10	13
95	23	5/8"	3	12	25	造船材料	mm mm	2	1	其他	1,450	12	8
100	29	3/4"	5	13	79	不等山計	mm mm	2	1	計	3,438	39mm	7
105	2	7/8"	2	14	32	リボン	mm mm	2	1	鋼板計	5,625	44.5	1
110	3	1"	2	15	71	計	mm mm	2	1	軌條及附屬品の部		64	1
115	3	1 1/4"	2	16	81	半圓鋼	mm mm	2	1	軌		78	1
120	2	1 1/2"	4	17	94	計	mm mm	2	1	條		91	1
125	2	1 3/4"	22	18	11	造船材料	mm mm	2	1	92	138	109	1
130	3	2"	23	19	44	溝形鋼	mm mm	2	1	102	303	Pipe	4
140	3	2 1/2"	23	20	47	工形鋼	mm mm	2	1	Elevator	46	fitting	47
150	3	3"	21	21	124	計	mm mm	2	1	其他	102	其他	
7/32"	1	3 1/2"	3	22	104	六角鋼	mm mm	2	1	計	589	鋼管計	614
1/4"	2	計	156	23	計	リボン	mm mm	2	1	繼目板	lbs 用	其他鋼材の部	
5/16"	1	平鋼	鋼	24	1	計	mm mm	2	1	92	16	特殊鋼	
1/2"	1	計	156	25.4	1	半圓鋼	mm mm	2	1	102	16	丸鋼	196
5/8"	5	平鋼	鋼	27	1	計	mm mm	2	1	其他	21	鋼鋼板	21
3/4"	5	計	156	30	3	造船材料	mm mm	2	1	計	589	鋼鋼板	58
23/32"	1	平鋼	鋼	32	4	計	mm mm	2	1	繼目板	lbs 用	其他	98
1/2"	1	計	156	34	5	六角鋼	mm mm	2	1	92	16	計	375
5/8"	6	平鋼	鋼	35	3	計	mm mm	2	1	102	16	外輪	13
3/4"	13	計	156	43	1	造船材料	mm mm	2	1	其他	21	計	13
1	11	平鋼	鋼	43	2	計	mm mm	2	1	計	589	其他鋼材計	388
1 1/8"	1	計	156	43	2	造船材料	mm mm	2	1	繼目板	lbs 用	鋼材總計	14,585
1 1/4"	3	平鋼	鋼	43	2	計	mm mm	2	1	92	16	鋼片・鋼塊	
1 3/8"	3	計	156	43	2	造船材料	mm mm	2	1	102	16	フエロム	15
1 1/2"	6	平鋼	鋼	43	2	計	mm mm	2	1	其他	21	其他	3,988
1 3/4"	9	計	156	43	2	造船材料	mm mm	2	1	計	589	シートの	85
2	7	平鋼	鋼	43	2	計	mm mm	2	1	繼目板	lbs 用	ブルー	10
2 1/4"	5	計	156	43	2	造船材料	mm mm	2	1	92	16	レット	11
2 1/2"	10	平鋼	鋼	43	2	計	mm mm	2	1	102	16	ケツグ	11
2 3/4"	3	計	156	43	2	造船材料	mm mm	2	1	其他	21	スチール	
3	12	平鋼	鋼	43	2	計	mm mm	2	1	計	589	線材計	987
3 1/4"	1	計	156	43	2	造船材料	mm mm	2	1	繼目板	lbs 用	線材計	
3 1/2"	5	平鋼	鋼	43	2	計	mm mm	2	1	92	16	線材計	
4	1	計	156	43	2	造船材料	mm mm	2	1	102	16	線材計	
4 1/4"	12	平鋼	鋼	43	2	計	mm mm	2	1	其他	21	線材計	
4 1/2"	14	計	156	43	2	造船材料	mm mm	2	1	計	589	線材計	
4 3/4"	9	平鋼	鋼	43	2	計	mm mm	2	1	繼目板	lbs 用	線材計	
5	4	計	156	43	2	造船材料	mm mm	2	1	92	16	線材計	
5 1/4"	1	平鋼	鋼	43	2	計	mm mm	2	1	102	16	線材計	
5 1/2"	12	計	156	43	2	造船材料	mm mm	2	1	其他	21	線材計	
6	14	平鋼	鋼	43	2	計	mm mm	2	1	計	589	線材計	
7 1/2"	9	計	156	43	2	造船材料	mm mm	2	1	繼目板	lbs 用	線材計	
8	2	平鋼	鋼	43	2	計	mm mm	2	1	92	16	線材計	
10	3	計	156	43	2	造船材料	mm mm	2	1	102	16	線材計	
寸法不明	521	平鋼計	216	43	2	計	mm mm	2	1	其他	21	線材計	
計	1,290	造船材料	鋼	43	2	計	mm mm	2	1	計	589	線材計	
2 1/2"	101	フープ	鋼	43	2	計	mm mm	2	1	繼目板	lbs 用	線材計	
2 3/8"	48	計	156	43	2	計	mm mm	2	1	92	16	線材計	
2 3/4"	5	計	156	43	2	計	mm mm	2	1	102	16	線材計	

昭和8年10月中製鐵所品種別揚地別發送高

(單位噸)

分類		內地													輸出向			合計
		阪神		京濱		名古屋		其他		當所		計			滿洲	南洋	計	
		官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	計				
品名	寸法																	
厚鋼板	6mm以上	316	3,433	2,324	2,079	—	44	1,421	316	—	78	4,061	5,944	10,005	—	—	—	10,005
中鋼板	1mm-6mm未滿	51	1,734	955	1,578	32	485	484	159	9	6	1,531	3,962	5,493	—	—	—	5,493
薄鋼板	1mm未滿	—	1,258	—	1,191	—	—	10	3	—	40	10	2,492	2,502	—	—	—	2,502
特殊鋼板	一括	2	229	8	293	—	6	22	—	—	5	32	533	565	—	—	—	565
珪素鋼板	"	—	67	—	674	—	—	5	592	—	33	5	1,366	1,371	—	—	—	1,371
鍍力板	"	4	753	—	1,826	—	17	18	34	—	233	22	2,863	2,885	78	—	78	2,963
大形丸鋼	100mm超	—	751	53	269	5	—	49	4	—	1	107	1,025	1,132	—	—	—	1,132
中形丸鋼	36mm超	—	1,817	148	456	138	86	160	70	3	121	449	2,550	2,999	—	—	—	2,999
小形丸鋼	36mm以下	—	1,896	154	1,790	11	171	104	88	—	389	269	4,334	4,603	312	—	312	4,915
大形角鋼	100mm超	—	—	3	20	2	—	25	—	—	—	30	20	50	—	—	—	50
中形角鋼	36mm超	15	90	64	65	39	85	44	2	—	18	162	260	422	—	—	—	422
小形角鋼	36mm以下	—	216	4	102	1	88	3	—	—	47	8	453	461	20	—	20	481
中形平鋼	巾55mm超	1	158	189	179	7	33	62	—	—	16	259	386	645	99	—	99	744
小形平鋼	巾55mm以下	1	522	37	479	11	168	7	21	—	—	56	1,190	1,246	—	—	—	1,246
特殊形棒鋼	半丸、六角	—	—	2	—	—	—	43	—	—	—	45	—	45	—	—	—	45
スケルブ	一括	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大形山形鋼	等邊不等邊片100mm超	171	2,749	197	624	—	6	210	49	—	22	578	3,450	4,028	—	—	—	4,028
中形山形鋼	" 50mm超	5	2,749	821	547	—	270	892	27	—	36	1,718	3,629	5,347	25	—	25	5,372
小形山形鋼	" 50mm以下	—	352	56	307	—	234	102	10	—	8	158	911	1,069	—	—	—	1,069
溝形鋼	一括	172	1,582	294	2,239	—	17	372	802	—	9	838	4,649	5,487	150	—	150	5,637
工形鋼	"	34	3,154	16	768	—	—	13	—	—	—	63	3,922	3,985	—	—	—	3,985
特殊型形鋼	球山 Z.T.	—	48	27	250	—	—	24	161	—	5	51	464	515	—	—	—	515
鋼矢板	一括	—	296	—	73	—	241	—	56	—	—	—	666	666	233	—	233	899
重軌條	22kg以上	6,817	—	4,022	—	—	—	2,075	3,040	—	—	12,914	3,040	15,954	10,007	—	10,007	25,961
輕軌條	22kg未滿	1	1,043	—	1,079	—	93	53	407	—	532	54	3,154	3,208	114	—	114	3,322
軌條附屬鋼	一括	—	4	48	26	—	2	63	113	—	4	111	149	260	730	—	730	990
線材類	"	—	2,762	13	1,334	—	5	—	—	—	3,766	13	7,867	7,880	—	—	—	7,880
販賣用鋼片	"	—	86	—	436	—	5	—	—	—	5,668	—	6,195	6,195	—	—	—	6,195
販賣用鋼塊	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	69	—	69	69	—	—	—	69
販賣用	"	—	5,159	—	—	—	—	—	4,531	—	—	—	9,690	9,690	—	—	—	9,690
シート	"	—	—	127	—	—	—	175	—	—	—	302	—	302	24	—	24	326
外車軸	"	—	747	—	5	8	—	6	—	—	1	14	753	767	8	—	8	775
鍛成尺	"	—	264	—	403	—	—	—	—	175	5	175	672	847	—	—	—	847
特殊鋼條鋼一括		—	—	—	208	—	—	—	—	—	—	—	208	208	—	—	—	208
鋼材計		7,590	33,919	9,562	19,294	254	2,056	6,442	10,485	187	11,112	24,035	76,866	100,901	11,800	—	11,800	112,701
銑鐵		—	1,802	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,802
販賣用屑鋼		—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,468	—	—	—	—	—	—	2,494

昭和8年10月中製鐵所品種寸法別生産高 (其ノ一) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數		
棒鋼の部				球山形鋼				mm				B.W.G.No.			
小形丸鋼				等邊中形山形鋼				パイピングシート				其他の鋼板			
9	4,546	38	100	65	767	9"×3½"	165	10	904	33	1	33	13		
10	2	44	177	75	659	計	165	11	12	35	26	31	7		
11	3	50	214	90	970	mm mm		12	921	36	35	30	1,056		
12	141	65	12	100	492	400×75	139	13	105	37	1	29	420		
13	4	75	6	計	2,888	400×100	957	13.5	4	38	52	計	3,108		
14	1	80	2	等邊計	4,222	計	1,096	14	393	40	5	美裝鋼板			
15	7	100	3	不等邊中形山形鋼		型鋼計	20,251	15	56	43	3	汽罐用			
16	160	計	514	mm mm		條鋼計	32,884	16	494	55	1	刃物用			
18	57	大形角鋼		65×50	339	鋼板の部		17	20	65	2	防楯			
19	102	mm		75×50	55	薄鋼板		17.5	3	計	8,318	客車用			
21	14	110	14	80×60	7	sheets		18	141	縞中鋼板					
22	129	120	4	90×60	19	13	1,212	19	598	3	10	飛行機用			
25	139	130	42	90×75	741	11	1	20	338	3.2	28	特殊電氣爐鋼			
28	6	140	18	100×75	880	10	18	22	199	4	1	計			
30	2	150	124	計	2,432	7	171	23	3	4.5	36	鋼板計			
32	26	計	202	不等邊計	6,089	0.5mm	23	24	2	計	83	軌條の部			
34	1	角鋼計	948	溝形鋼		計	1,740	24	13	輕軌條					
36	1	小形平鋼		mm mm		中鋼板		25	55	6 K					
計	5,341	mm		100×50	371	0.8	56	26	2	8					
中形丸鋼		19	214	100×65	944	0.87	1	82	2	9					
38	28	22	392	125×65	389	1	82	1.2	13	10					
40	5	25	219	180×75	389	1.2	13	1.4	53	12					
42	4	32	696	200×70	638	1.4	53	1.5	12	15					
44	5	38	9	200×80	51	1.5	12	1.6	1,379	計					
50	231	44	2	230×80	92	1.6	1,379	1.8	1	縞耳付厚鋼板					
55	479	50	13	230×90	115	1.8	1	1.85	329	6	142	6 mm			
60	56	計	1,545	300×90	271	1.85	329	2	214	8	36	8			
65	292	中形平鋼		6"×2½"	2	2	214	2.2	10	9	52	9			
70	121	mm		6×3	507	2.2	10	2.3	600	計					
75	164	60	14	計	3,380	2.3	600	2.5	29	ユニバーサル鋼					
80	49	65	86	工形鋼		2.5	29	2.6	34	平					
85	46	70	100	mm mm		2.6	34	2.7	2	mm					
90	434	80	59	230×100	260	2.7	2	2.9	114	9					
95	17	90	76	300×150	3,614	2.9	114	3	26	11					
100	623	100	89	24"×7½"	1,210	3.2	1,968	3.5	46	12					
計	2,554	3%	5	計	5,084	3.8	9	4	232	13					
大形丸鋼		計	429	乙形鋼		4.5	665	4.5	665	14					
105	27	平鋼計	1,974	mm mm mm		5	191	5	191	15					
110	15	其他の棒鋼		100×50×40	17	5.5	8	5.7	8	16					
115	112	引拔磨丸	36	130×70×60	39	計	6,082	厚鋼板		17					
120	88	鋼釘氣爐丸	28	130×80×70	17	6	1,102	6	5	18					
125	242	計	65	150×75×65	133	6.5	20	6.5	20	19					
130	100	棒鋼計	12,633	計	206	7	189	7	189	20					
140	36	型鋼の部		丁形鋼		8	879	8	879	21					
150	582	等小形山形鋼		6"×4"	9	9	980	9	980	22					
160	131	mm		計	9	9.5	9	9.5	9	23					
170	40	20	101	厚鋼板		計	9	計	9	24					
180	122	25	235	6	1,102	6	1,102	6	1,102	25					
190	45	30	405	6.5	20	6.5	20	6.5	20	26					
200	211	40	282	7	189	7	189	7	189	27					
計	1,751	45	145	8	879	8	879	8	879	28					
丸鋼計	9,646	50	166	9	980	9	980	9	980	29					
小形角鋼		計	1,334	9	9	9	9	9	9	30					
25	69	計	232	9	9	9	9	9	9	31					
28	11	計	232	9	9	9	9	9	9	32					
32	152	計	232	9	9	9	9	9	9	33					
計	232	計	232	9	9	9	9	9	9	34					

昭和8年10月中製鐵所品種寸法別生産高 (其の二) (單位噸)

寸 法	吨 数	寸 法	吨 数	寸 法	吨 数	寸 法	吨 数	寸 法	吨 数	寸 法	吨 数	寸 法	吨 数
線 釘 材 の 部		鋼 線		其 他 の 部		其 他		銑 鐵		鋼 片		短 尺 及 屑 鋼	
線 材 mm		mm		鍛 成 品		外 輪 311 車 軸 598		本 戸 所 22,545 煙 岡 9,906		外 部 向 6,763		短 尺 1,535	
5.5	4,886	5.5	10	普 通 鋼 42	}	ボ ル ト	52	計 88,495	26,044	内 部 向 96,633	計 103,396	屑 鋼 2,609	計 4,144
計	4,886	3	9	坩 埚 鋼 7		ナ ッ ツ				リ ベ ッ ト 39			
製 釘 材		0.65	1	特 殊 殊 電 氣 爐 鋼 109		計 1,000				鋼 塊			
mm		計 21		特 別 別 高 速 度 鋼 2		其 他 計 1,160		普 通 鋼 136,747 坩 埚 鋼 20 電 氣 爐 鋼 1,694 鑄 造 鋼 363		シ ー ト バ ー			
5.5	3,618							計 138,824		外 部 向 5,818			
計	3,618	線 釘 計 8,525		計 160		鋼 材 總 計 101,025		計		内 部 向 12,461			
								計		計 18,279			

11月上、中、下旬各種輸入速報

(自10月25日至10月7日)

(自 11 月 8 日至 11 月 17 日)

(自 11 月 18 日至 11 月 27 日)

品名	區分	神戸		大阪	横濱	合計	神戸		大阪	横濱	合計	神戸		大阪	横濱	合計						
		本旬	本月累計	本旬	本旬	本旬	本月累計	本旬	本月累計	本旬	本月累計	本旬	本月累計	本旬	本月累計	本旬	本月累計					
薄板	(0.7mm以下)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1				
鈹力板	#	190	973	517	1,680	69	259	882	1,855	250	767	1,201	2,881	421	680	1,012	2,867	496	1,263	1,929	4,810	
線材	B.W.G. no.5	—	61	25	86	—	—	203	264	11	36	214	300	—	—	—	234	52	88	52	352	
	其他	—	20	51	71	3	3	30	50	52	103	85	156	—	3	162	152	—	103	102	258	
中板	計	—	81	76	157	3	3	233	314	63	139	299	456	—	3	102	416	52	191	154	610	
	1.6mm	—	—	181	181	—	—	30	30	1	182	31	212	—	—	—	70	100	—	182	70	282
厚板	2.3	—	—	43	43	—	—	10	10	3	46	13	56	—	—	—	10	—	46	—	56	
	3.2	—	30	1	31	—	—	40	70	—	1	40	71	—	—	—	70	—	1	—	71	
中板	4.5	—	30	—	30	—	—	167	197	—	—	167	197	—	—	—	197	—	—	—	197	
	其計	—	60	248	308	—	—	247	307	48	296	295	603	—	—	—	20	20	34	101	54	121
厚板	6mm	—	69	—	69	—	—	150	221	—	—	152	221	—	—	—	81	311	16	16	97	318
	8	—	26	—	26	—	—	20	46	—	—	20	46	—	—	—	20	66	—	—	20	66
厚板	9	—	83	—	83	—	—	45	128	—	—	45	128	—	—	—	31	159	—	—	31	159
	12	—	26	—	26	3	3	49	75	—	—	52	78	—	—	—	31	106	—	—	31	109
中板	其計	4	102	—	106	4	8	112	214	1	1	117	223	16	24	28	242	—	1	44	267	
	他	4	306	—	310	7	11	378	684	1	1	386	696	16	27	191	875	16	17	223	919	
中山等邊	50mm	—	146	—	146	—	—	—	146	—	—	—	146	—	—	—	146	—	—	—	146	
	65	—	96	—	96	—	—	—	96	—	—	—	96	—	—	—	96	30	30	30	126	
中板	75	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	90	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	9	9	9	
厚板	100	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	其計	—	242	—	242	—	—	—	242	—	—	—	242	—	—	—	242	39	39	39	281	